

量の見込みの算出について

1. 推計にあたって

推計にあたって、平成 25 年度に実施したアンケート調査結果を基に、平成 26 年 1 月に国から示された「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」に基づき、算出を行いました。推計について、事業に関連する設問の利用意向率や、利用意向日数について年齢ごとに整理しました。これらの利用希望の割合に、事業に該当する家庭類型の推計人口をかけたものが「ニーズ量」となっています。

以下の表は、手引きで示されている算出方法で算出した際の過程を示しています。事業ごとに、ニーズ調査の該当する設問の対象者数と、そのうちの利用意向がある者の人数を年齢別に表示しています。また、ニーズ量の算出方法も併せて示しています。

2. 教育・保育の量の見込み

(1) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)
3	127	119
4	139	132
5	131	128

●算出プロセス

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプC'フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	793	0.918	728
タイプD 専業主婦(夫)	2,477	0.966	2,392
タイプE'パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	8	1.000	8
			計 3,129人

(2) 2号認定（学校教育への希望が強い者）

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)
3	58	2
4	92	20
5	84	24

●算出プロセス

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	281 ×	0.313 =	88
タイプB フルタイム×フルタイム	1,298 ×	0.141 =	183
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	425 ×	0.283 =	120
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000 =	0
			計 391人

(3) 2号認定（認定こども園及び保育園）

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)
3	68	66
4	92	71
5	84	59

●算出プロセス

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	281 ×	0.706 =	198
タイプB フルタイム×フルタイム	1,298 ×	0.861 =	1,118
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	425 ×	0.692 =	294
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000 =	0
			計 1,610人

●補正方法

- ・平成26年度の実績1,328人を、3月末人口5,458人で割り、利用割合を算出する(24.33%)。
- ・3~5歳の推計人口5,282人に利用割合(24.33%)を乗じて、実績に基づいたニーズ量を算出する。(1,285人)
- ・一方、調査の対象者244人のうち、196人(80.33%)が事業を希望している。この利用希望者の割合80.33%を利用割合24.45%で割り、補正值(3,301)を算出する。
- ・次に、利用を希望しているが、利用できない方の割合を算出する。問12-5で「利用したいが、空きがない」、「利用したいが、経済的な理由で利用できない」、「利用したいが、時間の条件が合わない」、「利用したいが、質や場所が合わない」のいずれかに回答した方が、回答者196人のうち6人(3.06%)

おり、これを通常の算出方法で算出されたニーズ量（1,610 人）に乗じると 49 人が算出されるが、ニーズ調査における利用希望の超過分を補正する必要があるため、49 人を補正值（3.301）で割ると、15 人が算出される。

- 実績に基づいたニーズ量 1,285 人に 15 人を加算した人数をニーズ量とした。

(4)、(5) 3号認定（認定こども園及び保育園＋地域型保育）

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)
0	52	49
1	103	98
2	88	82

●算出プロセス

(0歳児)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	70 ×	0.500 =	35
タイプB フルタイム×フルタイム	422 ×	0.971 =	410
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	129 ×	1.000 =	129
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000 =	0
計			574人

●補正方法

対象者となる49人のうち、30人が(61.22%)が問12-5で「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用したい」を選択している。よって選択していない人の割合(100%-61.22%=38.78%)を、ニーズ量574人に乗じた。

●算出プロセス

(1~2歳児)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	165 ×	0.750 =	124
タイプB フルタイム×フルタイム	1,191 ×	0.972 =	1,158
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	240 ×	0.926 =	222
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000 =	0
計			1,504人

●補正方法

※1歳について(同様の補正を2歳についても行い、合計したものを3号1~2歳の補正值とした)

- ・平成26年度の実績379人を、3月末人口1,722人で割り、利用割合を算出する(22.0%)。
- ・1歳の推計人口1,565人に利用割合(22.0%)を乗じて、実績に基づいたニーズ量を算出する。(344人)
- ・一方、調査票の対象者103人のうち、98人(95.15%)が事業を希望している。ニーズ調査における利用希望の超過分を補正する必要があるため、この利用希望者の割合95.15%を利用割合22.0%で割り、補正值(4.323)を算出する。
- ・次に、利用を希望しているが、利用できない方の割合を算出する。問12-5で「利用したいが、空きがない」、「利用したいが、経済的な理由で利用できない」、「利用したいが、時間の条件が合わない」、「利用したいが、質や場所が合わない」のいずれかに回答した方が、回答者98人のうち4人(0.04%)いたため、通常の算出方法で算出されたニーズ量(717人)に乗じた結果、29人が算出されるが、ニーズ調査における利用希望の超過分を補正する必要があるため、29人を補正值(4.323)で割ると、7人が算出される。
- ・実績に基づいたニーズ量344人に7人を加算した人数を1歳のニーズ量とした。

(参考) 保育園への利用意向 (年齢別希望者数)

問13「現在利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答え下さい」						
年齢(歳)	調査票での対象者(人)	3~10(※)選択者(人)	希望の割合	調査票での対象者(人)	認可保育園選択者(人)	希望の割合
0	125	94	75.2%	125	76	60.8%
1	206	139	67.5%	206	124	60.2%
2	180	121	67.2%	180	95	52.8%
3	199	93	46.7%	199	72	36.2%
4	237	113	47.7%	237	78	32.9%
5	221	104	47.1%	221	70	31.7%

※選択肢 3~10：認可保育園、認定こども園、小規模な保育施設、家庭的保育、事業所内保育施設、自治体の認証・認定保育施設、認可外の保育施設、居宅訪問型保育

3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み（年齢別希望者数）

（6）時間外保育事業

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)
0	1	0
1	28	7
2	42	20
3	36	15
4	73	18
5	65	18

●算出プロセス

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向率(割合)	=	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	518	×	0.240	=	124
タイプB フルタイム×フルタイム	2,906	×	0.381	=	1,107
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	790	×	0.114	=	90
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.000	=	0
					計 1,322人

(7)、(8) 放課後児童健全育成事業

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)
5	85	58
8	100	7
9	159	13

●算出プロセス

(低学年)

	c:家庭類型別児童数(人)	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	302	0.444	134
タイプB フルタイム×フルタイム	1,398	0.872	1,219
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	457	0.450	206
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
計			1,559人

●補正方法

※就学児童調査票問12を用いて、ニーズ量を求めた。

●算出プロセス

(高学年)

	c:家庭類型別児童数(人)	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	304	0.333	101
タイプB フルタイム×フルタイム	1,408	0.696	980
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	461	0.250	115
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
計			1,196人

●補正方法

※就学児童調査票問13を用いて、ニーズ量を求めた。

(9) 子育て短期支援事業

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)	希望平均日数(日)
0	123	8	1.3
1	204	7	3.2
2	177	7	2.1
3	197	6	2.4
4	233	12	2.6
5	219	9	1.5

●算出プロセス

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	518	0.064	33
タイプB フルタイム×フルタイム	2,906	0.098	283
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	790	0.088	70
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	1,088	0.064	70
タイプD 専業主婦(夫)	4,682	0.116	544
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	17	0.000	0
			計 999人日/年

●補正方法

算出方法：

- ・八千代市における0~5歳児推計人口はH27で10,001人。
- ・A市でのH24年度の実績は0~5歳人口23,388人に対し607人。よって利用割合は2.595%となる。
- ・10,001人×2.595%

(10) 地域子育て支援拠点事業

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)	希望平均日数(日)
0	125	107	3.5
1	208	166	3.5
2	184	126	2.4

●算出プロセス

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人回)
タイプA ひとり親	237 ×	1.901 =	450
タイプB フルタイム×フルタイム	1,640 ×	2.126 =	3,486
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	364 ×	2.175 =	793
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	264 ×	3.017 =	797
タイプD 専業主婦(夫)	2,205 ×	2.710 =	5,974
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000 =	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000 =	0
タイプF 無業×無業	9 ×	4.000 =	36
			年間138,444人回/年
			月間なので、×12か月

(11) 一時預かり(幼稚園在園児における在園児の利用:一時利用)

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)	希望平均日数(日)
3	116	59	116.8
4	131	78	15.2
5	125	69	13.6

●算出プロセス

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	793 ×	13.3 =	10,562
タイプD 専業主婦(夫)	2,477 ×	8.3 =	20,595
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.0 =	0
タイプF 無業×無業	8 ×	0.0 =	0
			計 31,157人日/年

●補正方法

幼稚園もしくは認定こども園利用希望でかつ不定期事業を利用したいと答えた人で、さらに問13で選択肢2「幼稚園の預かり保育」を選択した人は25人中6人(24%)。よって算出されたニーズ量31,157人日/年に24%を乗じる。

(12) 一時預かり（幼稚園における在園児の利用：定期利用）

●年齢別希望者数

年齢(歳)	希望平均日数(日)
3	222.8
4	222.2
5	196.4

●算出プロセス

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向	=	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	88	×	173.8	=	15,263
タイプB フルタイム×フルタイム	183	×	247.8	=	45,368
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	120	×	210.0	=	25,241
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0	=	0
計					85,872人日/年

●補正方法

教育希望の高いとされる方で、かつ問 13 に回答した 44 人のうち、選択肢 2 「幼稚園の預かり保育」を選択した方は 23 人 (52.27%)。算出された 85,872 人日/年に 52.27%を乗じる。

(13) 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)	希望平均日数(日)
0	121	59	26.7
1	198	122	18.7
2	177	104	28.0
3	193	106	22.0
4	231	137	19.4
5	213	118	18.4

●算出プロセス

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりのニーズ量
タイプA ひとり親	518 ×	10.494	
タイプB フルタイム×フルタイム	2,906 ×	8.515	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	790 ×	12.668	
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	1,088 ×	17.222	10,562
タイプD 専業主婦(夫)	4,682 ×	9.790	20,595
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000	
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000	0
タイプF 無業×無業	17 ×	0.000	0

e 利用したい人日/年

	問23「5. ベビーシッター」「6. その他」の利用(人日)	e:ニーズ量(日)
-タイプA	648	4,792
-タイプB	28,789	0
-タイプC	1,580	8,431
-タイプC'	1,268	6,902
-タイプD	43,678	0
-タイプE	0	0
-タイプE'	0	0
-タイプF	1	0
計		20,125人日/年

●補正方法

八千代市の実績として14,210人日/年の定員のうち、4,005人日/年が利用されているため、稼働率は28.18%。算出されたニーズ量20,125人日/年に稼働率(28.18%)を乗じる。

(14) 病児・病後児保育事業

●年齢別希望者数

年齢(歳)	発生頻度	希望平均日数(日)
0	1.00	0
1	0.37	9.2
2	1.22	12.5
3	0.80	6.2
4	0.80	8.3
5	0.61	6.4

●算出プロセス

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	518 ×	4.729 =	2,451
タイプB フルタイム×フルタイム	2,906 ×	6.403 =	18,607
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	790 ×	3.136 =	2,478
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000 =	0
			計 23, 537人日/年

●補正方法

対象の選択肢を選択した 196 人のうち、「同居者を含む親族・知人にこどもを見てもらった」を選択した者が 98 人であった。この選択肢を選択した者を除く 98 人 (50%) を算出されたニーズ量 23,537 人日/年に乗じる。さらに、上記のように補正された値 11,769 人日/年に、国研究班調査「病児・病後市保育の実態把握と質向上に関する研究」で示されている稼働率 30.5% (全国平均) を乗じる。

(15)、(16) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

●年齢別希望者数

年齢(歳)	調査票での対象者(人)	選択者(人)	希望平均日数(日)
5	221	2	2
5	220	2	1

●算出プロセス

(低学年)

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	302 ×	0.1 =	17
タイプB フルタイム×フルタイム	1,398 ×	0.0 =	29
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	457 ×	0.0 =	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	854 ×	0.0 =	0
タイプD 専業主婦(夫)	2,666 ×	0.0 =	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.0 =	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.0 =	0
タイプF 無業×無業	9 ×	0.0 =	0
			年間 2,392人日/年

※週間なので×52週

(高学年)

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	304 ×	0.1 =	17
タイプB フルタイム×フルタイム	1,408 ×	0.0 =	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	461 ×	0.0 =	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	860 ×	0.0 =	0
タイプD 専業主婦(夫)	2,685 ×	0.0 =	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.0 =	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.0 =	0
タイプF 無業×無業	9 ×	0.0 =	0
			計 884人日/年

※週間なので×52週